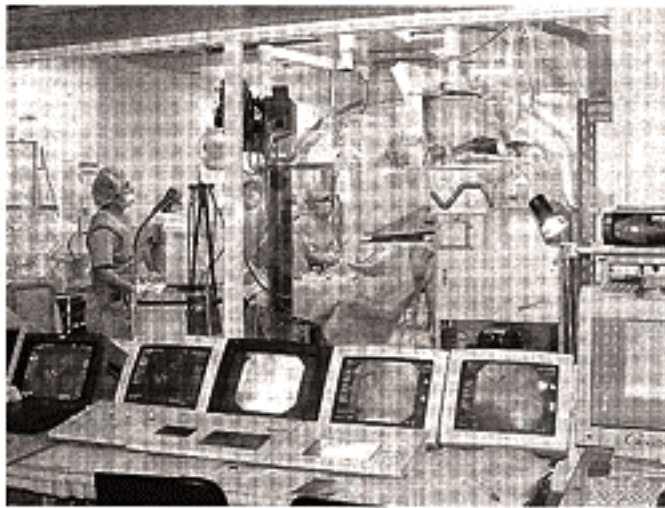


風船治療をライブ中継

若手育成に初の公募術者

トータル
ハート
センター
豊橋セ

年々、増加する心筋こ
うそくなど心疾患治療の
技術向上を目指すライブ
デモ「日本心血管インタ
ーベンション学会学術集
会」が30日、豊橋と名古
屋を主舞台、ライブで中継
して行われた。7月1日



名古屋会場に中継された公募医師による

治療現場＝豊橋ハートセンターで

も行う。

同学会は元国立療養所
豊橋東病院副院長で、現
在は豊橋ハートセンター
院長・鈴木孝彦氏が発起
人となって組織され、今
回は同センターが主催。今
年のテーマは「新たな挑
戦」。同センター研究所
長・加藤修氏が会長を務
め、今回初めての試みと
して、若手医師の教育を
推進する公募術者の治療
ライブも加わり大規模な
内容となった。

主催の名古屋国際心
臓病学会には、海外の専門医
らも含め約4000人の
循環器内科医師らが集ま
った。同センターの3つ
のカテテル室で行われ
た通称「風船治療」の現場
が主会場に双方向中継さ

れ、映像を大型スクリー
ンで見ながら、加藤会長
や7人のコメンテーター
が術者にいろいろと質問
を浴びせた。

中継の中で、緊急患者
が運び込まれ鈴木院長が
手際よく対処する様子、
カテテル室現場にいる
ような臨場感あふれる映
像に、場内の医師らも真
剣なまなざしで見入っ
ていた。4人の応募術者
らも真剣そのもので、ペ
テラン医師の指導やアド
バイスを受けながら迅速
・的確な治療を行った。
鈴木院長は「初めて術
者を公募したが、これか
ら伸びる若手医師の育成
になると思う。ライブは
ショーイイベントではな
く、うちの病院で行って

いる通常の内容。手術
や治療現場を情報公開
すれば、患者や家族の安
心につながる」と語っ
た。

2日目は、鈴木院長や
各地のペテラン医師6人
が、高度な技術を必要と
する患者10人の治療にあ
たる。主会場では外国人
医師らもコメンテーター
として参加し、最新医療
機器や設備、その実績な
ど紹介する。内外医師ら
の講演会も行われる。

(星野のりこ)